

2020 年度後期授業の方針について

白鷗大学では、9月24日から始まる後期授業の方針について、各種委員会で検討し、面接(対面)授業と遠隔授業を併用して実施することとしました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、前期授業はインターネットを介した遠隔授業を余儀なくされました。学生の皆さんは、思い描いていたようなキャンパスでの活力あふれる充実した学生生活ができず、不安や不満が多かったかもしれません。そのような状況下でも学びの機会を途絶えることなく、学生の皆さんと教職員が一丸となって取り組んだ結果、前期授業を終えられたことに感謝いたします。

本学としましては、後期は通常通りの対面授業を実施すべく協議を重ねて参りましたが、依然として全国における感染者の増加は著しく、栃木県においても連日感染者が確認されるなど、一向に収束が見通せない状況が続いています。こうした状況を踏まえ、後期の対面授業にあたっては、十分な感染予防対策を講じて参ります。学生の皆さんと教職員の健康と安全面に配慮するとともに、安心してキャンパスを利用できるように努めて参りますので、皆様のご協力を賜りたく存じます。

これから先、新型コロナウイルスの感染状況によっては、授業形態を変更する可能性もあります。随時、学生ポータルや本学ホームページでお知らせいたします。

最後に、質の高い学びの提供と感染拡大防止を両立させるべく、教職員一同全力で取り組んで参りますので、今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2020年8月20日
白鷗大学学長
奥島孝康